

ごみの減量や適正なごみの分別回収などを通じて、住みよい街づくりを推進しましょう。

秦野市ごみ減量通信

第 34 号

平成28年4月発行

発行 秦野市環境資源対策課（秦野市名古木409番地） 電話：82-4401（直通）
粗大ごみ・剪定枝戸別収集受付電話：82-0053（秦野市名古木409番地：環境資源センター内）
E-mail：k-sigen@city.hadano.kanagawa.jp

市民の皆さんに、秦野市のごみの現状を知ってもらい、ごみ減量等の大切さを理解していただくため、『秦野市ごみ減量通信』を発行しています。

ごみ減量・資源化ガイドを発行しました



ごみの減量・資源化を推進するため、「ごみ減量・資源化ガイド ごみは資源！～立ち上がれみんなの中のエコごころ～」を3月上旬に自治会を通じて配布させていただきました。

主な内容

秦野市のごみの現状、循環型社会のWA（環）（循環型社会とは何か、分別したものは何に生まれ変わるのか）、生ごみを減量しよう！（可燃ごみの中の生ごみの量、生ごみの成分、生ごみ処理機の種類、生ごみ処理機補助制度について、デスポーザーの設置、エコレシピの紹介）、リユース（再使用）しよう！（買い物で実践できること、リサイクルショップの活用、家庭でできるリユース）

インクカートリッジは回収ボックスへ

秦野市ではインクカートリッジの回収をしています。

回収場所

市役所1階ロビー、環境資源センター、保健福祉センター、各駅連絡所、各公民館、図書館、広畑ふれあいプラザ



対象品目

インクジェットプリンターの純正の使用済カートリッジ（ブラザー、キャノン、デル、セイコーエプソン、日本ヒューレッドパカード、レックスマークインターナショナル）

レジ袋削減にご協力を

レジ袋は再利用されなければ、可燃ごみに捨てられてしまいます。容器包装プラスチックとしてリサイクルし



てもエネルギーを消費します。マイバックを持参すれば、ごみを減量し、エネルギー消費を抑えることができます。マイバック持参で特典があるスーパーもありますので、今日から始めてみましょう。

引っ越しや片付けをしたみなさんへ！

ごみは普段の収集日に計画的に出していただくことがベストです。しかし、片付けをすると大量に出てしまうこともあります。そうした場合は、環境資源センターや清掃工場などへ以下の方法により自己搬入ができます。



環境資源センター受付	受付日時	備考
可燃ごみ・不燃ごみの自己搬入	月曜日～土曜日 8:30～11:00 13:00～16:00	・環境資源センターで、市の指定工場への搬入許可証を発行するので、それを持って工場へ搬入していただきます。 ・ <u>可燃ごみと不燃ごみの両方がある場合は、袋ごとに分別をしてください。</u>
資源物等の自己搬入 (カン・ビン・古紙・衣類・布類・蛍光灯・ 乾電池・スプレー缶※1・ 容器包装プラスチック※2)	年末年始を除く毎日 8:30～17:00	・環境資源センター内の各ストックハウスに入れてください。 ※1 穴を開けて中身を抜いた状態のもの ※2 ペットボトルは搬入できません。
粗大ごみの自己搬入 (1辺の長さが50cm～2m、 重さが100kg以下の家具など)	年末年始を除く毎日 8:30～12:00 13:00～16:00	※電話等による事前予約で自宅まで収集する戸別収集も行っています。

ストックハウス、正しく使いましょう！

環境資源センター等に設置してあるストックハウスには、可燃ごみや粗大ごみ、事業系ごみの搬入はできません。

ストックハウスは家庭系の資源物専用となっておりますので、引き続き、適正利用にご理解とご協力をお願いします。



環境資源センターのストックハウスは、扉に入れることができる資源物の看板が貼っています！

排出禁止物は収集場所に出さないで！

・農薬、塩酸や硫酸、石鹼を作るための苛性ソーダなどの薬品
⇒収集場所には出さないでください。必ず専門業者にご相談を。

・小型充電電池（携帯電話などの電池）やボタン電池
⇒販売店に返却してください。収集場所には出さないでください

これ以外にも、注射針など排出禁止物があります。詳しくはごみと資源の分け方・出し方ガイドをご覧ください。

紛れ込んでいた小型充電電池や薬品により、処理施設で悪臭や火災などが発生しています。大事故につながる恐れもありますので、**排出禁止物は絶対に収集場所に出さないでください。**

これらのマークのついた電池は販売店に返却を！

